

8節 つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)

18.8.1 一般事項

この節は、コンクリート面、押出成形セメント板面、モルタル面、せっこうプラスター面、せっこうボード面、その他ボード面等並びに屋内の木部、鉄鋼面及び亜鉛めっき鋼面のつや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りに適用する。

18.8.4 鉄鋼面のつや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り

屋内の鉄鋼面のつや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りは表 18.8.3により、種別は特記による。特記がなければB種とする。

表18.8.3 鉄鋼面のつや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り

工 程	種 別		塗 料 そ の 他			塗付量 (kg/m ²)
	A種	B種	規格番号	規格名称	種 類	
錆止め塗料塗り	○(注)		18.3.3(1)による			
1 中塗り1回目	○	○	JIS K 5660	つや有り合成樹脂エマルジョンペイント	—	0.10
2 研磨紙刷り	○	—	研磨紙刷りP220~240			—
3 中塗り2回目	○	—	JIS K 5660	つや有り合成樹脂エマルジョンペイント	—	0.10
4 上塗り	○	○	JIS K 5660	つや有り合成樹脂エマルジョンペイント	—	0.10

(注) 錆止め塗料塗りの種別は、塗料その他の欄による。

【18.3.3 錆止め塗料塗り】

(1) 鉄鋼面の錆止め塗料塗りは、次による。

(ア) 4節、8節及び錆止め塗装のままの場合は、表18.3.3により、種別は特記による。

特記がなければ、見え掛り部分はA種とし、見え隠れ部分はB種とする。

表18.3.3 鉄鋼面錆止め塗料塗り

工 程	種 別		塗り工法その他
	A種	B種	
素地ごしらえ	○注		18.2.3による。
1 錆止め塗料塗り(下塗り1回目)	○	○	18.3.2(1)による。
2 研磨紙刷り	○	—	研磨紙P120~180
3 錆止め塗料塗り(下塗り2回目)	○	○	18.3.2(1)による。

(注) 素地ごしらえの種別は、塗り工法その他の欄による。

(2) 鉄骨等の鉄鋼面の錆止め塗料塗り工法は、次による。

(ア) 4節、8節及び錆止め塗装のままの場合は、次による。

(a) 2回目を鉄骨等の製作工場で塗る場合は、次による。

① 1回目の錆止め塗料塗りは、製作工場において組立後に行う。

ただし、組立後、塗装が困難となる部分は、組立前に錆止め塗料を2回塗る。

② 2回目の錆止め塗料塗りは、汚れ、付着物等を除去した後、塗膜の損傷部分の補修塗りを行い、乾燥後に塗る。

③ 工事現場での建て方及び接合完了後、塗膜の損傷部分は、汚れ、付着物等を除去した後、錆止め塗料で補修する。

また、接合部の未塗装部分は、汚れ、付着物、スパッター等を除去した後、錆止め塗料を2回塗る。

(b) 2回目を工事現場で塗る場合は、次による。

① 1回目の錆止め塗料塗りは、製作工場において組立後に行う。

ただし、組立後、塗装が困難となる部分は、組立前に錆止め塗料を2回塗る。

② 2回目の錆止め塗料塗りは、工事現場での建て方及び接合完了後、塗膜の損傷部分は、汚れ、付着物、を除去した後、錆止め塗料で補修し、乾燥後に塗る。

また、接合部の未塗装部分は、汚れ、付着物、スパッター等を除去した後、錆止め塗料を2回塗る。

【18. 2. 3 鉄鋼面の素地ごしらえ】

鉄鋼面の素地ごしらえは表18. 2. 2により、種別は特記による。特記がなければ、C種とする。ただし、7節〔耐候性塗料塗り(DP)〕の場合はB種とする。

表18. 2. 2 鉄鋼面の素地ごしらえ

工 程	種 別			面の処理
	A種(注)	B種(注)	C種	
1 汚れ、付着物除去	○	—	○	スクレーパー、ワイヤブラシ等で除去
2 油類除去	○	—	—	アルカリ性脱脂剤で加熱処理後、湯又は水洗い
	—	○	○	溶剤で拭き取る。
3 錆落とし	○	—	—	酸浸け、中和及び湯洗いにより除去
	—	○	—	ブラスト法により除去
	—	—	○	ディスクサンダー、スクレーパー、ワイヤブラシ、研磨紙P120～220等で除去
4 化成皮膜処理	○	—	—	りん酸塩処理後、水洗い乾燥

(注) A種及びB種は、製作工場等で行うものとする。

【18. 3. 2 塗料種別】

(1) 鉄鋼面の錆止め塗料の種別は、表18. 3. 1とし、次による。

(ア) 4節の場合は、As種とする。

(イ) 7節の場合は、1回目の錆止め塗料塗りはCs種、2・3回目の錆止め塗料塗りはDs種とする。

(ウ) 8節の場合はAs種又はB種とし、適用は特記による。特記がなければ、Bs種とする。

(エ) 錆止め塗装のままとする場合はAs種とする。

表18. 3. 1 鉄鋼面の錆止め塗料の種別

種別	錆 止 め 塗 料 そ の 他			塗付量 (kg/m ²)	標準膜厚 (μm)	適 用
	規格番号	規 格 名 称	種 類			
As種	JIS K 5674	鉛・クロムフリー錆止めペイント	1種	0.10	30	屋外・屋内
Bs種	次のいずれかによる。			—	—	屋内
	JASS 18 M-111	水系錆止めペイント	—	0.11	30	
	JIS K 5674	鉛・クロムフリー錆止めペイント	2種	0.11	30	
Cs種	JIS K 5552	ジンクリッチプライマー	2種	0.14	15	—
Ds種	JIS K 5551	鋼構造物用錆止めペイント	A種	0.14	30	—

(注) 1. JIS K 5674に基づき、1種は溶剤系、2種は水系である。

2. JASS 18 M-111は、日本建築学会材料規格である。